



# 一管区水路通報第 1 1 号

平成 1 4 年 3 月 2 2 日

第一管区海上保安本部

## 項 数 索 引

( 9 8 項 ~ 1 0 2 項 )

---

9 8 項	北海道南岸	襟裳岬西方	射撃訓練
9 9 項	"	釧路港 - 西区第 2 区	灯付浮標撤去
1 0 0 項	北海道西岸	羽幌港	灯台光達距離変更
1 0 1 項	本州東岸	八戸港東方	射撃訓練
1 0 2 項	出 版		海洋速報

---

## お知らせ

世界測地系への移行及び日本測地系海図の廃版について  
日本測地系と世界測地系の経緯度変換について

記事 中、特に指定のない経緯度は、日本測地系による値です。

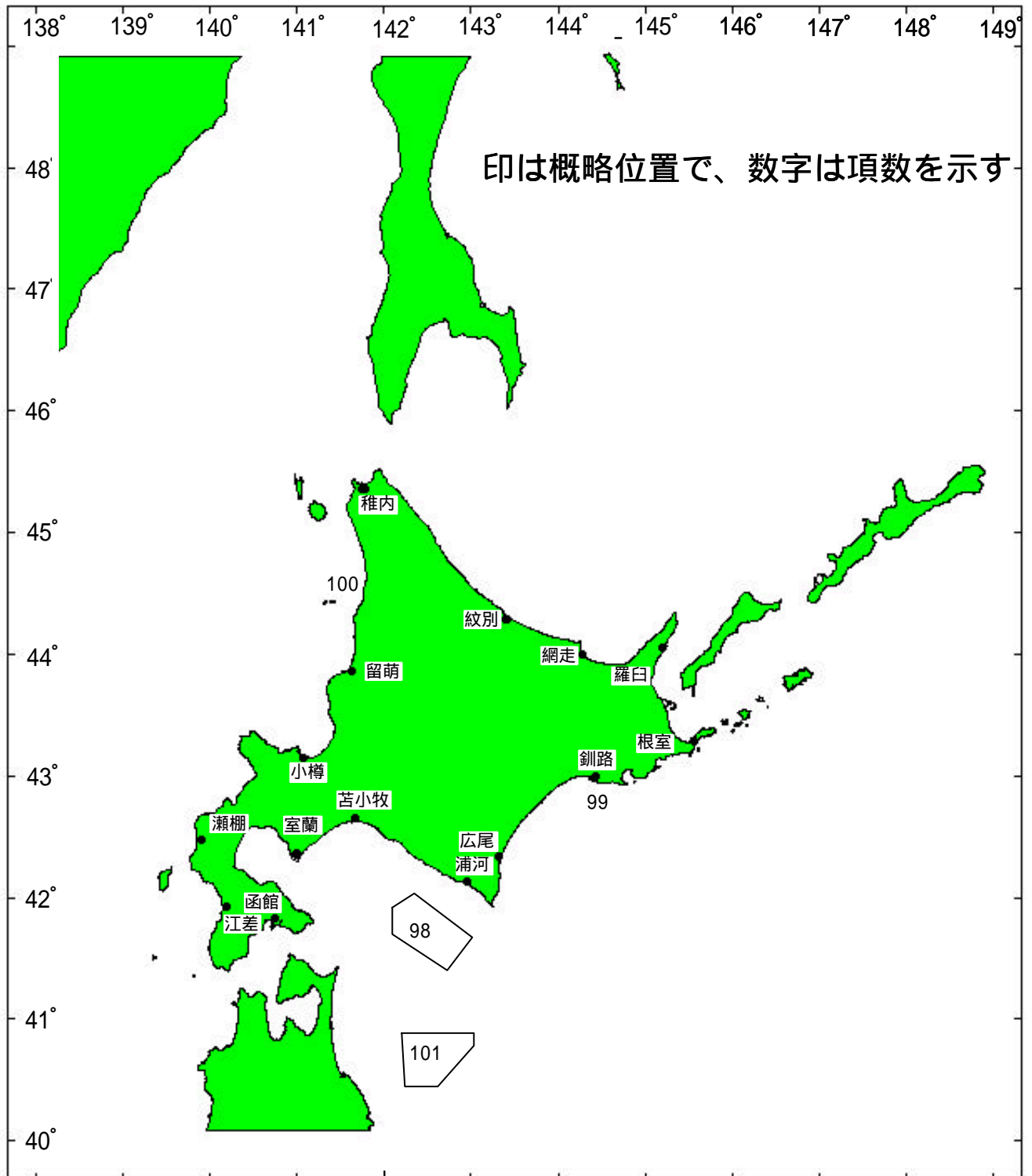
水路通報の内容については、インターネット及びFAXで入手出来ます。

インターネットアドレス <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN1/tuho/index.html>

F A X 番 号 0134-32-9319 ( 情報ボックス )

0134-27-6190 ( ポーリングサービス )

# 索引図





## お 知 ら せ

### 世界測地系への移行及び日本測地系海図の廃版について

我が国の海図のうち、日本及びその周辺の海図については、従来は日本測地系で刊行されていましたが、平成14年3月末までに、全ての海図が世界測地系へ移行されます。

それに伴い、北海道及び周辺の海図についても、平成13年10月から順次、世界測地系海図が刊行され、平成14年1月から3月までに日本測地系海図は廃版されます。

このため、別添の日本測地系海図の廃版予定及び「水路図誌目録」(平成13年7月刊行、平成14年3月改版予定)を参照の上、早期に世界測地系海図の使用に移行されるようお願いいたします。

なお、世界測地系海図の刊行及び日本測地系海図の廃版の詳細については、毎週の一管区水路通報などでお知らせすることとしています。

- 1 平成14年3月末までは・・・
  - ・日本測地系による海図と世界測地系による海図とが混在しますので、海図に使われている測地系とGPS等の測位システムの測地系を十分確認の上使用されますようお願いいたします。
  - ・一管区水路通報の位置表示は、日本測地系と世界測地系を併記しています。
  - ・一管区航行警報の位置は、原則として日本測地系で提供しています。
- 2 平成14年4月以降は・・・
  - ・緯度・経度は世界測地系に統一され、日本測地系海図は全て使用できなくなります。
  - ・一管区水路通報・航行警報の位置表示は、世界測地系のみになります。

## 北海道周辺の海図について

### 既に発行済みの世界測地系海図

海図番号	図名	海図番号	図名
W3	北海道及付近	W40B	天売島及焼尻島
W5	小樽港	W41	宗谷岬至小樽港
W6	函館港	W42	国後島及付近
W7	石狩湾港	W43	神威岬至襟裳岬
W8	瑤瑤瑠水道	W45	択捉島
W9	函館湾及付近	W72	金華山至津軽海峡
W10	津軽海峡	W1006	本州東部及北海道
W11	積丹岬至松前港	W1020	択捉島至オネコタン島
W17	内浦湾 [噴火湾]	W1022	北海道至カムチャッカ半島
W18	野付水道付近	W1023	択捉島南方海域
W21	利尻島及諸分図	W1030	津軽海峡東口至襟裳岬
W22	北海道西岸南部諸分図 第 1	W1031	襟裳岬付近
W24	根室半島諸分図	W1032	襟裳岬至落石岬
W25	霧多布港至歯舞漁港	W1033A	苫小牧港西部
W26	釧路港至霧多布港	W1033B	苫小牧港東部
W27	ルベシベツ埼至十勝港	W1034	室蘭港至苫小牧港
W28	増毛港至岩内港	W1039	網走港至枝幸港
W29	北海道北岸諸分図	W1040	宗谷海峡
W30	北海道南岸諸分図	W1041	稚内港
W31	釧路港	W1043	礼文島及諸分図
W32	奥尻島	W1045	利尻島至増毛港
W33	宗谷海峡及付近	W1046	留萌港
W34	襟裳岬至色丹島	W1059	青森港至函館港
W36	厚岸湾	W1095	男鹿半島至函館港
W37	色丹島至宗谷岬	W1401	泊原子力発電所付近
W38	色丹島付近	W1402	羅臼港、歯舞漁港
W39	北海道西岸南部諸分図 第 2	W1403	十勝港
W40A	北海道西岸北部諸分図	W1404	白老港

### 今後発行される世界測地系海図

海図番号	図名	発行予定日
W 1 4	室蘭港付近	平成14年 3月29日
W 1 6	室蘭港	平成14年 3月29日

## 今後廃版される日本測地系海図

海図番号	図名	廃版年月
3	北海道及付近	平成14年 3月
14	室蘭港付近	平成14年 3月
16	室蘭港	平成14年 3月
1006	本州東部及北海道	平成14年 3月
1022	北海道至カムチャッカ半島	平成14年 3月

### 日本測地系と世界測地系の経緯度変換について

「測量法及び水路業務法の一部を改正する法律」(平成13年6月20日公布)の施行により経緯度の基準が4月1日以降、世界標準である世界測地系に変更されます。

海上保安庁では、海事関係者等皆様の便宜を図るため、経緯度数値を世界測地系に変換するコンピュータプログラムをインターネット上で公開しました。

変換プログラムは、海域について日本測地系と世界測地系(WGS84)の経緯度数値を相互に変換できるようになっておりますので、海域で経緯度数値を利用している方々で現在の経緯度数値を世界測地系に基づく経緯度数値に変更する場合などに本プログラムをご利用下さい。

インターネットアドレス：<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/>

水路図誌に関するお問い合わせは下記へどうぞ。

第一管区海上保安本部水路部 監理課 図誌係

〒047-8560 小樽市港町5番3号小樽港湾合同庁舎(5階)

TEL(0134)27-6161(内線315) FAX(0134)32-9301

メールアドレス [sodan1@jodc.go.jp](mailto:sodan1@jodc.go.jp)